

報道関係各位

DX 人材不足、日本の課題解決にむけて

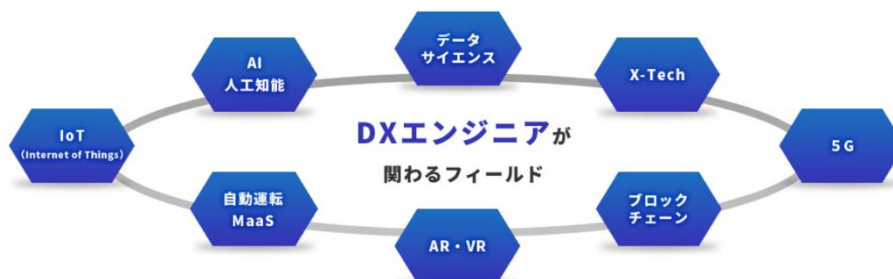
目指すのは、新しい「価値」を創造する DX エンジニアの育成

DX エンジニア総合コース 2 期生オンラインライブ講座 10 月 4 日スタート！

教育事業を運営するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：川上 輝之、以下「当社」）は、人材不足が日本の深刻な課題となっている「DX 人材育成」を目的とした教育講座「DX エンジニア総合コース」の 2 期生対象となるオンラインライブ講座を 10 月 4 日に開講します。本講座は、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長の古田 貴之氏と開発を進め、社会で本当に必要とされる「課題解決や新たな価値を生み出すプロジェクトを進めることができる DX のリーダー」の輩出を目指します。オンラインライブ講座では、古田 貴之氏と株式会社ワークロボティクス代表取締役で千葉工業大学未来ロボット技術研究センター（fuRo）客員研究員の保坂 謙史郎氏が講義を担当します。これまでの実績、実体験を惜しみなく披露くださり、最新の AI/DX 事情からアプリ開発、AI の作り方や AI プロダクトの開発体験、実際に起きた課題解決事例など、DX エンジニア育成に最適と考えた要素を盛りこみました。

【本件のポイント】

- 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長 古田 貴之氏が講座開発に携わり、実績や実体験を提供。
- あらゆる業界で DX が必要な時代に。2030 年予測では、DX 市場は 5 兆 1,957 万円、深刻な人材不足に。当社は、2023 年度で 500 名の DX エンジニア輩出を目指す。
- AI 技術で表情の違いを認識する「見守りカメラ」など、実社会で使用されている最先端の AI・DX プロダクト開発体験、実際の開発事例を紐解きながら DX エンジニアの素養を習得。



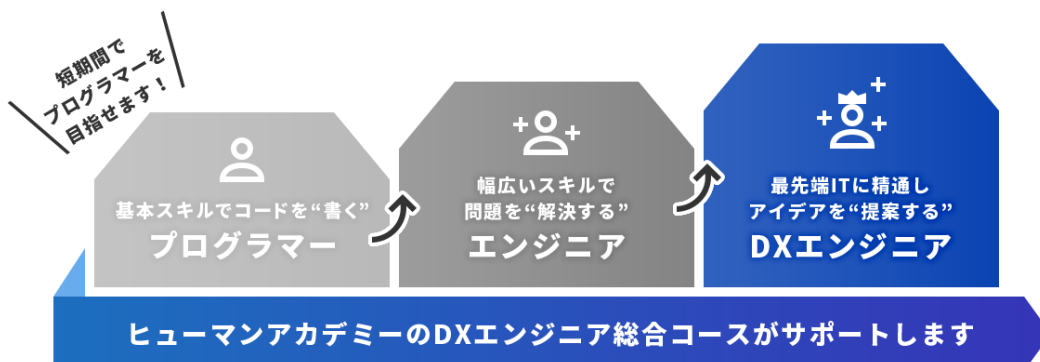
【本件の概要】

IT 人材需要が高まったことに伴いプログラミングスクールは、ここ数年で急増しました。プログラミングを多くのスクールで気軽に学ぶことができるようになった一方で、DX エンジニアを育成する講座は数少ない状況です。これからの社会で本当に求められるのはコードを書くだけのプログラマーではなく、IT とモノをどのように繋げたら社会が豊かになるかを自力で考えることができる DX エンジニア。当社の新講座は、自分のアイデアで社会を豊かにできる人材を育てるための講座です。DX 人材不足の深刻な課題に対して、2023 年度は 500 名の DX エンジニア輩出を目指します。

■ 取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

【コースの概要と特徴】

コードを書いたり、実装に向けたテストを行うプログラマーからスタートし、いま業界で人材価値が高いとされている、AI やIoT など最先端のテクノロジーの知識を身につけた DX エンジニアを目指します。基本スキルの取得から、デジタル改革を支える DX エンジニアまでのステップアップを段階ごとに学びます。あらゆる業界で DX が必要となる時代となり、IT 実務経験有り無し、文系理系に関わらず、多くの方がこれまで培った知識、経験を活かして目指すことができるキャリアです。



<https://haa.athuman.com/academy/programming/>

特徴① IT 未経験でも文系理系に関わらず、誰でも DX エンジニアを目指せます。



Python と呼ばれる、シンプルで直感的に理解しやすいコードを使ってプログラミングを学習するため、はじめてのプログラミング学習でも安心です。実際の開発現場で求められる開発手法も学びながら実践的に即戦力スキルを身につけます。

特徴② AI など高度な IT 技術の開発方法や考え方が学べる！



カメラで撮影された画像を AI が解析し、人や物体の種類や位置情報を自動的に検出する見守りカメラの開発を通じて、AI プロダクトの仕組みや開発に必要な知識を実践的に学びます。開発を通じて実際に手を動かしながら考えることでプログラミングスキルの深い理解はもちろん、最先端の IT 技術を活用した開発プロセスの体験にもつながります。

特徴③ 課題解決のプロセスを先端技術の活用例から学べる！

さまざまなプログラミングスキルや、AI などの最先端技術が実際にどのような課題の解決につながるのか？ 数あるアプローチの中から最適解を導き出すために、実際の開発事例を紐解きながら、DX エンジニアに必要な素養を身につけます。



画像：千葉工業大学提供



\\例えば.../

誰でも安全で簡単に移動できる乗り物に必要な機能は...?



■ 取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
ha_info@athuman.com

DX エンジニア総合コース

・Python 講座/Python 応用講座/DX のための Python 実践講座/Git 基礎講座/データベース基礎講座

受講時間：132 時間

受講期間：12 か月

<https://haa.athuman.com/academy/programming/>

●オンラインライブ講座（DX のための Python 実践講座）

2 期生初回授業：10 月 4 日（全 12 回）

1 回：2 時間 30 分（全 30 時間）

授業では、古田先生と保坂先生から直接、学ぶことができます。

3 期生は、2024 年 4 月の開講予定となり、10 月 10 日から受講生募集を開始します。

【アドバイザー】



古田 貴之氏

千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長

学校法人千葉工業大学 常任理事

新たなロボット技術・産業の創造を目指し、企業との連携を積極的に行い、新産業のシーズ育成やニーズ開拓に取り組む。2002 年にヒューマノイドロボット「morph3」、2015 年に未来の乗り物「ILY-A」、2018 年に現代の最新ロボティクス、AI 技術をプロダクトデザインで融合させることで生まれた未来の機械生命体「CanguRo」を発表した。

また、SUICA の自動改札口や自動車、携帯電話のデザイン等で著名な工業デザイナー山中 俊治氏（リーディング・エッジ・デザイン）との共同研究により、ロボットのプロダクトデザイン研究も行う。



保坂 謙史郎氏

株式会社ワークロボティクス代表取締役

千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター（fuRo）客員研究員

古田 貴之氏と共同でヒューマンアカデミーの「はじめてでもできる・わかる体験型 AI 入門講座」の企画開発を行う。

■ヒューマンアカデミーについて（<https://manabu.athuman.com/>）

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスキリング、学び直しの支援を行っています。

さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、最高水準の教育サービスを提供していきます。



■取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
ha_info@athuman.com

■ヒューマングループについて

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、美容、スポーツ、IT と多岐にわたる事業を展開しています。1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内 320 拠点以上、海外 5 カ国 6 法人のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。



日本リスキリングコンソーシアム

学び続けよう、未来のために。

ヒューマンホールディングスは、
日本リスキリングコンソーシアムの後援パートナーです。

●ヒューマンホールディングス WEB サイト：
<https://www.athuman.com/>

ヒューマンアカデミー株式会社概要

- 代表者：代表取締役 川上 輝之 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
- 設立：2010 年 4 月 ●資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原 千恵
E-mail：ha_info@athuman.com
■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 平、若林
E-mail：kouhou@athuman.com